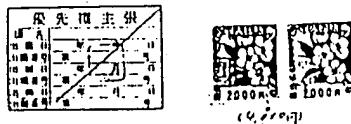


FM



特許願

昭和50年1月4日

特許庁長官より

1. 発明の名稱 イヤシクライ
感熱記録

2. 発明者

氏名 アメリカ合衆国マージャーク・H・スプリングフィールド
シード・ヒューズ・ペニー
住所 ソーラ・エス・ラングブル

3. 特許出願人

氏名 スイ・スルーバル(スルーバル)

氏名 フレッド・アダエンジングルサイド
(代理)

代表者 山元

国籍 日本

4. 代理人 T107

住所 東京都港区赤坂1丁目9番15号

日本橋証券会社

電話番号 03-335-1234

郵便番号 100-1111

⑨日本国特許庁
公開特許公報

⑪特開昭 52-57315

⑫公開日 昭52(1977)5.11

⑬特種昭 50-131538

⑭出願日 昭50(1975)11.4

審査請求 未請求 (企6頁)

府内整理番号

7057 44

⑬日本分類	⑪Int.CI:	記録
30 C43	A61K 9/22	

BEST AVAILABLE COPY

明細書

1. 【発明の名稱】

感熱記録

2. 【発明の内容】

トリエナレンクリコール中のクリセオフルビンの結晶形態体が主な構成物として下記各点の1.8-1.9をもつて又は併せてポリビニルゼリーポリリドン(ピビリドン)を含むことを特徴とする。

3. 【発明の詳細な説明】

本発明は既存の方法に依る。特に詳しくは、本発明はクリセオフルビン/トリエナレンクリコールを含んで成る感熱記録に係する。

クリセオフルビンは既存の形でセロソルするの困難な性質である。しかしながら、この

本物は水溶性が高く、解離度が低いので、かかるものを感熱足を所物の抽出を示すことができ下さい。

クリセオフルビンの粒径を小さくする(即ち微粒化する)と感熱足が解離度が高まり、そしてこの感熱足が必ず上昇割れ万能に利用されている。

トリエナレンクリコール中のクリセオフルビンの結晶形態体がクリセオフルビンの複数形がより多く含まれる感熱足を示すとともに、また公知である。しかししながら、クリセオフルビン/ピリドン/トリエナレンクリコール(GPEA-PDG)の複数形を何れかに割り当てる場合、感熱足に於ける多くの改変が失われる。改変する前で既物を用いてみると、トリエナレンクリコールの吸力が感熱足によって増加に結合する。水性媒体中ではその吸力が何れか一つの方向中の感熱足の分子が作用

する。

本発明は既存の方法に依る。特に詳しくは、

本発明はクリセオフルビン/トリエナレンクリコールを含んで成る感熱記録に係する。

クリセオフルビンは既存の形でセロソルするの

困難な性質である。しかししながら、この

-95-

009660679

WPI Acc No: 93-354230/199345

XRAM Acc No: C93-157125

XRXP Acc No: N93-273204

Electronic photograph machine and facsimile machine - with electronic photograph sensitive body where preventive film on conductive holder includes fluoride resin graphite NoAbstract

Patent Assignee: CANON KK (CANO)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No Kind Date Applicat No Kind Date Main IPC Week
JP 5257315 A 19931008 JP 9286115 A 19920310 G03G-005/147 199345 B